



旅する森のようちえん

＝のびのび東いぶりずむ＝

2015.10.16.fri～10.19.mon





旅する森のようちえん

＝のびのび東いぶりずむ＝
2015.10.16.fri～10.19.mon



プロジェクトの目的とねらい

「旅する森のようちえん」は、大自然の中へ出かけ、たくさんの友達や大人たちと出会い、交流を図り、「自立」や「心の成長」を目指します。
やってみたい！を大切に牧場や森で過ごします。「旅」という手法を通して、その土地の文化や自然に触れ、新しい事にチャレンジし、豊かな心を育みます。



[プログラムのポイント]

①牧場体験へ行こう。

みんなで、牧場を散策します。その土地の植物、生き物に出会い、探究心や、自主性を育もう。北海道の自然を思いっきり感じ、安平町でアンガス牛を放牧している牧場の暮らしに触れ、学ぼう。

②和みの森で学ぼう！遊ぼう！

森の中で、大きな木や大地に触れ、薪割り、枝打ちなどの作業に取り組み、自然の恵みを体感じ、友達と楽しもう。暖かい、涼しいなどの風や天候を感じ、体温調節ができる体作りをめざそう。
みんなで作る食事では、協力して、野外料理、火おこし体験にチャレンジしよう。



[1日目] 10/16 (金) 天気:晴 日中の気温 24℃

参加家族 10 組、2 歳～幼児、小学生合わせて 35 名、大家族の旅のはじまり。千歳空港から車ですぐの位置にあり、豊かな自然を楽しむことができる東胆振。この地域で、「いつまでも記憶に残るグリーンツーリズム」を作り出します。



12:00 集合前に現地入りした順に北海道味わいタイム。「食」「家族」「文化」「自然」いっぱい楽しもう！



14:00 景色を楽しみながら、バスで安平町へ。早速、まっすぐな道、馬、牛、ひろい野菜畑と出会う。

[タイムスケジュール]

- 14:00 新千歳空港集合
- 16:00 宿泊所着
地域探検・温泉
- 16:30 食事づくり
- 18:00 夕食
- 19:00 ナイトプログラム



16:00 キーワードは、「全開遊び」と「北海道の普通の田舎で大家族のようにみんなで過ごす」ことを確認。



16:00 現地のスタッフが子どもたち同士のかかわりをサポート。初日から、目を輝かせて、全身で遊ぶ。



16:30 散策しながら近所のチーズ店へ。ここ安平町は、日本で始めて本格的なチーズ生産を行った地。



16:30 カマンベールチーズを練りこんだソフトクリームや、コロッセを、チーズいろいろを楽しむ。



17:00 北海道の夕暮れ。「心と体を変容させるグリーンツーリズム」明日へと続きます。



17:00 北海道で 2 番目に古い鶴の湯温泉へ。明治の初めに、鶴が水浴びをして傷を癒し、発見された温泉。



18:00 北海道のホームセンターへ。北海道の味や生活を垣間見る用品がいろいろ。どれもビッグサイズ？！



18:00 夕食作り。地元の食材を提供していただき、参加者で工夫して調理。子ども達もしっかりお手伝い。



19:00 子ども達が寝た後は、大人タイム。10 年後、子ども達が北海道へ地域貢献を夢見て、旅育談義。

[2 日 目] 10/17 (土) 天 気 : 晴 日 中 の 気 温 22℃

お天気にも恵まれ、真っ青な大きな空の下で牧場探検へ。アンガスという肉牛を生産する農家さんから、牧場の暮らしを聞いたり、放牧スタイルで育てる牛の一生の話をさせていただきました。命をいただく、貴重な体験です。



06:30 朝の散歩。小鳥や、りすに
出会い、森の静けさが伝わってきそ
う。寒さも忘れて、元気いっぱい。



07:30 友達と一緒に食べる朝食。
今日もたくさん遊ぼう！朝からモリ
モリ食べてレッツゴー！

[タイムスケジュール]

- 06:30 起床
- 07:30 朝食
- 09:30 内藤牧場へ
- 11:30 BBQ
- 14:00 温泉へ
- 16:30 施設に戻る
- 18:00 夕食



10:00 牧場に到着。子育て上手な
あんがす牛の特徴や群れで生活する
特性を聞きます。



10:00 外からの菌を持ち込まない
ために、消毒槽に足を浸して足裏消
毒を行います。



11:00 牧場探検で見つけた、丸太
橋。みんなちよっぴりドキドキしな
がら、挑戦！こんな発見が面白い！



11:30 命をいただきます。採りた
て野菜も、豆の種類もたくさん。手
作り豆ごはん、野菜スープも格別。



11:30 お肉の部位を確認しながら
おいしくいただきました。子ども達
も、おかわりするくらい、満腹に。



14:00 北海道の牧場での1日。の
んびり放牧された牛の暮らしを学び
自然や食をしっかり味わいました。



18:00 夕食作り。鮭のちゃんちゃん焼き。北海道の魚料理も味わいま
した。じゃがいも・豆・セロリも。



18:00 みんなでいただきます。1日
動いていたので、おなかもぐうぐう。
しっかり食べて、明日も元気に。



19:00 宿舎でも、子ども達は大は
しゃぎ。けんかしたり仲直りしたり。
図鑑で学びの時間もありました。

[3 日 目] 10/18 (日) 天 気 : 曇 日 中 の 気 温 19℃

みんなが楽しみにしていた森での活動。ランチのエゾシカカレー、クラフトのサポートをしてくださった地元の方々との出会い、子ども達の森探検。帰りたくない！泊まりたい！また来たい！と子ども達が声を揃えた1日でした。



08:00 森に到着。早速、鹿にご挨拶。先発隊は、焚き火や設営の準備に。白樺の木に囲まれ、静かな森。



09:00 子ども達は、自分がやりたいことを探し、楽しめます。木の枝、葉、実、なんでも遊び道具です。

[タイムスケジュール]

- 06:30 起床
- 07:30 なごみの森先発隊 (10名)
朝ごはん
- 09:00 なごみの森へ
スプーンづくり
いすづくり
中国のかたとの交流
- 12:00 鹿カレーランチ
- 15:00 温泉へ
- 18:00 夕食



09:00 大きなハンモック?! ジャンプあり、ゆらゆら眠るもあり。バランスをとって、体を動かします。



10:00 森から木を切り出して始めるイス作り。座面の編みこみも、楽しすぎて止まらないとの声…。



10:00 何をつくろうかな。大きなソファ? ベッド? 飛行機に乗るサイズにしたほうがいいね。



10:00 子ども達向けの森探検。北海道のスタッフに教えてもらった草笛、ワクワク体験は一生の宝物。



11:00 中国から自然学校を見学にいらした方々とも交流。同じ場の中で世界の子どもの未来を考える。



12:00 森の中でいただくエゾ鹿の肉を使ったカレーの味は格別でした。大地、生き物の恵みに感謝して。



17:00 地元農家のお母さん達による NPO 法人ココ・カラの地元食材の手作り夕食。愛情もいっぱい味の。



17:30 どの料理も素材の味を活かしたもの。野菜いっぱいのスープ。じゃがいもの素揚げ。五目ごはん。



19:00 お誕生会と振り返りの時間。明日帰る名残惜しさと、北海道での思い出を心の中に。また来よう!

[1 日 目] 10/19 (月) 天 気 : 曇 日 中 の 気 温 20℃

最終日。朝6時、行きたい子ども達は近くのキャンプ場へお散歩。木登りするリスのツガイに出会い、最後まで北海道の自然を満喫。お世話になった北海道のスタッフのみなさんに見送っていただき、安平町から空港、帰途につく。



07:30 朝ごはん。北海道の納豆、牛乳、木のプレートで優しいぬくもりを感じながらいただきました。



08:00 撤収作業中、子ども達は、散策へ。広い空、原っぱ、みんなで遊ぶ楽しさ、いっぱい感じました。



08:00 森の中からビューン。北海道の空、太陽、風、土のにおい、きつと忘れないでしょう。



10:00 閉校式。大家族のように過ごした4日間。多様な価値観に触れ、自然の中で本物を体感しました。

[タイムスケジュール]

- 06:00 起床
- 近所へお散歩
- 07:30 朝食
- 片付け
- 10:00 閉校式
- 10:30 空港へ解散



10:30 空港へ。仲間となり、助けあって過ごした時間。自然の豊かさに出会い、心のお土産もたくさん。



スタッフからみなさんへ



東胆振子どもグリーンツーリズム
推進連合会 上田 融さん

この活動は、皆様をお迎えする立場として、1年の中で一番重要な位置にあるというか、この活動を中心にして1年のスケジュールを考えているような気がしています。それぐらい、私たちにとって意義深いものになっています。子どもたちにとって効果的な活動である事はもちろんですが、それ以上に子どもを取り巻く大人、地域が活性化し、促されている事を実感しているからです。それだけに、「今度はこんな事をやってみよう」とどんどんとアイデアが広がっていきます。そんな「子どもも、大人も生き生きとできる」活動の場を作っていきたいと思います。



森のようちえん谷保のそらっこ
佐藤 有里さん

地域の仲間と遠くへ出かけて過ごす「旅する森のようちえん」。大きな松ぼっくりや白樺の木。見上げた木から木へ走り回るリス達。いつも見たことのない生き物との出会いも刺激的でした。イスやスプーン作りのために切り出した木は、森の間伐材。楽しみや喜びをいただき、健全な森への循環が育つしくみなのですね。親子で道具を使って自分の手で作る、地元の食材を調理して食べる、星空を観察する。わが子も仲間もいっしょに育ちあう関係作りの輪が広がることを願っています。

参加者のパピママから



ママ代表 和久 紗枝さん

旅の間、終始私と離れられなかった息子が、すっかり夢中になった「和みの森」で出会ったおじさんとの焚き火の時間。ただ黙々と2人で火を見つめながら、薪をくべるタイミングや、小枝や落ち葉の使い方を教えてくれました。“かっこいい”大人のひとと出会い、共有した時間は、確実に小さな息子の心を育み、大きな糧となりました。夜中に泣いて起きた息子と外に出て、夜空を見上げた時のこと、「ぼく、こんなにたくさん星があるって知らなかった」と息子。いつもは見えないけれど、確かにそこに在るものを知った時、何とも言えない安心感、希望、探究心が湧いてきます。北海道の広い空、森、大地、現地の方々との出会いの中で、かけがえのない宝物をたくさん受け取って帰って来ました。貴重な体験の場をいただけたことに感謝です。



パパ代表 富塚 曜さん

我が家は5歳の娘と1歳11ヶ月の息子を連れて参加しました。子供達は牧場では羽が生えたかの様に目一杯遊び、森の中ではまるで探検家の様でした。都会では味わえない大自然を満喫し彼らなりに得るものが多かったと思います。そんな子供達を誰かが必ずみてくれていた為、そこは甘えて私も森の中でプチ木こり体験や夜は家族で満点の星を眺めたり童心にかえって楽しむ事が出来感謝しています。心配だった幼い息子連れての飛行機移動は、行きは私が「楽しむぞー」オーラを出してどうにか乗り切り、帰りは北海道を満喫した程よい疲れで離陸と共に寝てくれ無事移動成功！でした。






 National Institution For Youth Education
 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
 「子どもゆめ基金助成活動」

発行 平成 28 年 1 月
 森のようちえん 谷保のそらっこ
 〒 186-0011 東京都国立市谷保 4380-2
 ☎ 070-6458-0105
 E-mail: yahosora@outlook.com
<http://www.facebook.com/yahosora>

共催 東胆振子どもグリーンツーリズム推進連合会
 協力 NPO 法人 ココカラ
 NPO 法人 ezorock